

46・BSM-1070SLT/1270SLT/1670SLT/1070SLT(18)/1270SLT(18)/1670SLT(18) ハリマーク

1



2



3



4



5

400

300

200

100

6

← 注油

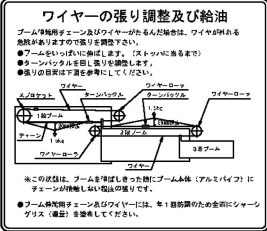
7

注油 →

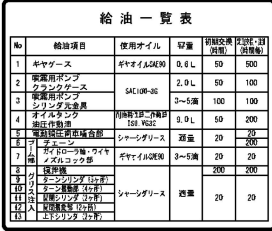
8

常用圧力 2MPa

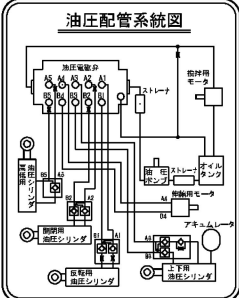
9



10



11/11A

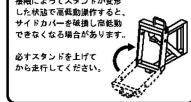


29

※2016年11月～

注意

【スタンドを上げて移動】



12

噴霧

給水

13

排水

閉水

14

取扱要領

PTO低速回転で、ブームをいっばい上にリフトした状態でブームを降せると、ブームが急激に降る場合がありますので、PTOを定格回転で回転させてください。

15

コック操作

3段ブーム 2段ブーム 1段ブーム

16

水抜きコック

閉 開

17

注意

薬剤の取扱注意

使用する薬剤の取扱説明書をよく読んで正しく使用すること。

18

警告

●移動、運転時は次のことを必ず守ること。

- 付属の資材を取付けフォークのサイズを指示位置に差し込み移動を行うこと（散布時は資材を外すこと）

19

警告

作業半径内立入禁止

最大作業半径 1.8m

20

注意

PTO定格回転速度 330 rpm

230～380 rpmの範囲で作業すること。

21

警告

挟まれ注意

可動部に手などを挟まれないように注意すること。

22

警告

落下の恐れあり

フロア入を乗せたまま作業機を動かさないこと。

24

警告

スタンドを降ろすときはスタンドに手を添えてからピンを抜き、ゆっくりと降ろすこと。

25

警告

飲料水源及び生物を飼育している湖沼からの直接給水は絶対に行わないこと。

散布計画を立て、薬剤は余らないようにすること。

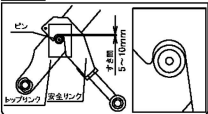
服装は、体に合ったものを着用して下さい。保護衣、保護マスク、保護メガネ、ゴム手袋・作業靴（長靴）等を用意し、安全な服装で作業すること。

28

注意

安全リンクフックとピンに5～10mmのすき間ができるようにセッティングすること。

安全リンクを効かせるとフレームとトップリンクに過大な負荷がかかり、破損または事故を引き起こす恐れがあります。



27

注意

トックリに近づく時は必ずブレーキを踏み、一時停止を繰り返して行うこと。

一歩退避禁止

26

警告

●ブームの反転操作はブームを完全に縮めて行うこと。

●傾斜地での反転操作は絶対に行わないこと。

●走行しながら反転操作は行わないこと。

●転倒の恐れがあるため、急降下・急登・急制動は行わないこと。

●ユンバールジョイントを取り付けず、トックリのエンジンを停止し、キーを抜き、駐車ブレーキをかけ、PTOのクラッチを必ずOFFにすること。

23

注意

ブーム全体の高低作業を行う場合は、ブームを開きブーム長さを完全に縮めた状態で行うこと。

30

注意

・トップリンクは両手でしっかりと持ち、確実に取付けすること。

・安全リンクは必ず取付けること。

・安全リンクを完全にきかせた状態で作業しないこと。

31

注意

安全に作業するために取扱説明書をよく読んで、正確に正しい方法で使用する。

定期メンテナンスを怠ると機体の故障、破損の原因となるため、取扱説明書の指示に従い、各部の点検を行うこと。

作業機の下を通過する際は、必ず（水車用保護装置・オートストップ）を必ず確認すること。

トックリとブームスプレーが当たらないように、高さ調節ダイヤルを調整し圧力をロックすること。

ブーム全体の高低作業を行う場合は、ブームを開きブーム長さを完全に縮めた状態で行うこと。

32

警告

ブームスプレーを配管、又は破損の恐れがあるため、次の操作は行わないこと。

- ブームを伸ばす際の急降下・急登・急制動
- ブームを伸ばしたまま反転操作
- 傾斜地での反転操作
- 油圧シリンダの反転操作
- 油圧シリンダの反転操作

PTOを戻しながらの移動は、ブームスプレーの取付け・取外しは水平な場所で、運転クランクが元の状態で行うこと。

ユンバールジョイントを取り付ける場合、トックリのエンジンを停止し、キーを抜き、駐車ブレーキをかけ、PTOクラッチを必ずOFFにすること。

※～2020年8月

※～2020年9月～